

# 本館の歴史

本館は平成8年2月23日にオープンしました。当館の敷地には以前、竹鼻朝日館という映画館がありました。この映画館は昭和9年から昭和46年まで営業を続けていました。当時は市民に大変親しまれていた映画館でした。平成4年頃から映画館を保存して欲しいという市民の強い要望があり、市は館内を検査しました。その時に館内からたくさんの映画ポスターが見つかりました。建物の老朽化を考慮し、改築より新築の道を選びました。

一方、現在の文化センターのあるところに、昭和59年4月にオープンした「羽島市歴史民俗資料館」がありました。文化センターの新築により建物を壊し、本館に移動することになりました。かくして、本館は「羽島市歴史民俗資料館」と「羽島市映画資料館」が同一建物の中に存在することになりました。公立の映画資料館は全国的にもまれです。現在も新旧映画ポスターを収集して充実を図っています。



## 利用案内

### 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 休館日

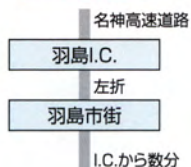
- 毎週月曜日（ただし第3日曜日の翌日月曜日は開館）
- 祝日の翌日
- 第3日曜日
- 年末・年始（12月28日～1月4日）

### 入館料

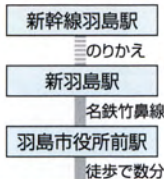
大人（高校生以上）	1人300円
団体（10人以上）	1人250円
中学生以下無料	

## 交通案内

### お車を利用



### 鉄道を利用



羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館



## 羽島市歴史民俗資料館 羽島市映画資料館

〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻町2624-1  
TEL 058-391-2234 FAX 058-391-7663  
URL : <http://www.city.hashima.gifu.jp>  
E-mail : [rekimin@ccn3.aitai.ne.jp](mailto:rekimin@ccn3.aitai.ne.jp)

# 羽島市歴史民俗資料館 ● 羽島市映画資料館



## 常設展示室

### 羽島市の文化財

羽島市指定文化財の16世紀末高時絵鞍（工芸文化財）と14世紀初期の骨壺（考古文化財）を所蔵しています。また、円空仏1体の寄託を受けています。



高時絵鞍  
(市指定文化財)



円空作・護法神像



古瀬戸灰釉四耳壺  
(市指定文化財)

### 輪中の生活

羽島市は西の長良川、東の木曾川に囲まれています。昔から洪水に何度もあってきました。人々は輪中を形成し生命財産を守ってきました。橋梁がかかる前は、交通手段として船が使われ渡船場がいくつもありました。



### 機屋の生活

江戸期の1700年代後半、竹鼻の町に京都西陣から木綿織物の技術が伝わり、その後美濃織の生産地として発展しました。大正、昭和の前期頃までは繊維産業が盛んでした。



美濃の棧留機(復元)

### 人々の暮らし



明治、大正、昭和の前期までの、一般大衆が使用していた家具や調度品などの生活用具を模擬部屋に展示してあります。全て市民からの寄贈品で実際に使用されていたものです。

## 資料展示室



「旧朝日館」から発見された映画資料を集約し、展示紹介しています。廃館になった映画館から寄贈された映写機、整流器などが展示されています。なかには産業遺産に登録されている1947年製の35ミリ映写機もあります。

## 映画資料室



1928年(昭和3年)  
神州天馬俠(マキ/映画)

寄贈を受けた映画ポスター、スチール写真、小道具などの映画資料が展示されています。毎月第2土曜日には「映画のつどい」が開催され、午前と午後1日2回映画が上映されます。

